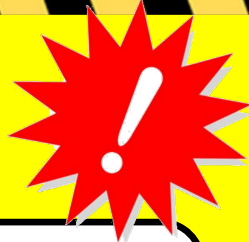


# 熊対策を行い、被害に**注意**しましょう



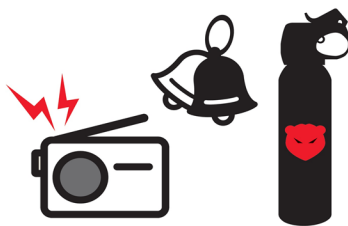
熊は、冬眠に入る前に餌を求めて人里近くまで行動圏が拡大するとともに、近年は冬眠が短い個体も認められており、これまで出沒していない地域にも出沒が予想されます。

農業現場においては、収穫作業、果樹の剪定や肥培管理、ハウス栽培における作業など、屋外での管理作業や移動が伴うため、安全確保の徹底や農作物被害等の防止に向けて、より一層の注意喚起が必要となります。

農作業は、熊被害に合わないよう以下の事に注意しながら、十分に気をつけましょう。

- ①農作業や侵入防止柵の設置・点検時等には、**ラジオなどで音を出してクマに人の存在をアピールする**
- ②特にクマの行動が活発になる早朝、夕方の農作業や侵入防止柵の設置・点検時は**周囲に気をつける**
- ③クマが頻繁に出沒する地域においては、できるだけ**単独の作業は避ける**
- ④森林などに隣接する農地では、安全確認を行いながら、クマの潜み場となる周囲の灌木などの**刈り払いを実施する**
- ⑤農作物の収穫残さや放置された果実など、**誘因物とならないよう適切に処理する**
- ⑥クマの侵入を防ぐため、**収穫物収納庫の施錠を徹底する**

鈴・ラジオなど**音の鳴る物**や  
**クマ撃退スプレー**を携行



**子グマ**を見たら  
周囲に注意して立ち去る



**単独行動**を避ける



作業中はこまめに**周囲を確認**



※**早朝**や**夕方**は特に注意！

クマが出沒した場所を  
**チェック**



クマに襲われた場合は、  
地面に伏せて**頭・首・腹**を守る

